



有限会社 OBARAYA
代表取締役

小原 秀仁

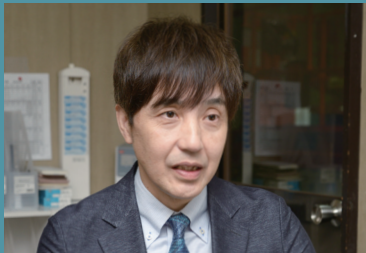
埼玉県春日部市出身。一般企業での勤務を経て、建築機械の補修塗装業に就く。キャリアを積んで個人事業主として独立し、2004年に（有）OBARAYAを設立した。工場の移転を経て、現在は千葉県山武市にある親会社の工場にて、業務を一手に引き受けている。



人との縁を大切に、丁寧な仕事を徹底 建設機械に特化した補修塗装プロ集団

2004年の設立以来、建設機械の補修塗装を通じて着実にクライアントの信頼を獲得している（有）OBARAYA。その源は、小原社長の飽くなきチャレンジスピリットにあった。仕事についてのポリシーや熱い思いに、ミュージシャンの鶴久政治さんが迫った。

Guest Comment>>



鶴久 政治（ミュージシャン）

対談の中で、小原社長の真面目で誠実なお人柄が印象的でした。独立前にお世話になった親方やスタッフさんへの感謝を話していただきましたが、人との出会いが道を開く、というのは私もこれまでに経験してきたこと。これから社長ご自身も、多くの若者に新たな道を示して下さることでしょう。さらなるご活躍を、私も陰ながら応援しています！

人との出会いに支えられて

鶴久 御社は、建設機械の塗装業を手掛けていらっしゃるそうですね。

小原 はい。当社では大手建設機械レンタル会社の補修塗装を請け負ってまして、中でも高所作業車をメインに扱っています。建設機械は、現場で使用されるうちにコンクリートやペンキで汚れてしまうもの。それを次に貸し出す業者さんに気持ち良く利用して頂くために、整備や清掃をして新品同様に美しくするのが私たちの役目です。塗装が剥けている部分を、傷ついた範囲に応じて道具を使い分けながら補うように塗装していきます。

鶴久 専門性の高いお仕事なのですね。小原社長は、この業界は長いのですか？

小原 そうですね、塗装業を始めて20年以上になります。もともと独立願望があるわけではなかったのですが、親方の下で修業を積んでいたところ、ある時、親方から独立を勧められまして。それならば「やってみよう」と思ったのです。鶴久 親方が社長のことを、もう一人前だと見込まれたということでしょうね。いざ独立されてみていかがでした？

小原 やはり責任感は格段に増しましたね。また、親会社の移転に伴い、数年前に工場を千葉県山武市に移しました。移転により敷地はかなり広くなり、保有台数も一気に増えたんです。その時に経験があって有能な者に助けを求めようと、以前に自分の下で働いていた元スタッフに声を掛けました。すると、「そういう

ことなら」とまた働いてくれることになって。当時はそのおかげで急場をしのげましたし、今では右腕として活躍してくれているので、本当に感謝しています。鶴久 親方や、そのスタッフさんの存在があってこそ今があるわけですね。小原 ええ。これまで要所要所で素晴らしい出会いがあり、大変なときに支えてくださった方々がたくさんいらっしゃいました。人には本当に恵まれていると思いますし、その出会いは宝です。そうした方々とのご縁をこれからも大切にしていきたいというのが一番の思いですね。

任せる勇気を持って指導を

鶴久 では、仕事を手掛けるにあたり、大切にされていることは何でしょう。小原 大前提として、頂いた仕事に対して一切の妥協をせず、丁寧に仕上げることです。加えて、ご迷惑にならないよう納期も遵守しますし、リクエストがあればできるだけ柔軟にお応えします。鶴久 高い対応力を保つにはスタッフさんの力が不可欠だと思います。現在、スタッフさんは何名いらっしゃいますか？小原 約8名ですね。20～50代と年齢層は幅広く、女性も活躍していますよ。特に若いスタッフたちと接していると、20代でこの業界に入った当時の自分を思い出し、ちょっとした親心のようなものも湧くんです。そのため、できるだけ丁寧に、根気強く育てていきたいと思いますね。ただ、一方でわかまえるところ



Focus on the topic

優秀なスタッフの腕が光る
美しく長持ちする補修塗装

（有）OBARAYAは、建設機械の補修塗装を専門に行う会社だ。スタッフの年齢層は幅広く、女性も働いているのが特長。専門的な仕事でありながら業界未経験者も歓迎しており、一から丁寧に指導してもらえるという。同社の良質な塗装は、丁寧な指導と一人ひとりの向上心に支えられている。



などはしっかり指導しています。

鶴久 なるほど。例えばどういったことでしょう。

小原 当社は親会社から仕事を頂いている立場ですから、現場でもその意識を持ってもらうことなどですね。親会社にも年齢の若い人はいますが、だからと言って友達のように接して良いわけではありません。そういった礼節については、私自身、先輩や親方から厳しく指導されてきました。

鶴久 社長が学ばれてきた精神を、次の世代へと引き継いでいらっしゃる。小原 ただ、時代の変化に伴い、技術や塗料、機械など進歩していくものも多いです。そのため、「昔はこうだったから」という固定観念を持って伝えるのではなく、若い世代には新しい考えを大切にしてもらえたらと思っています。例えば、私は仕事をある程度社員に任せるようにしていますから、その中で彼らなりのやり方を模索していったほうがいいです。

鶴久 任せるというのは、ある意味で勇気が必要なことだと思います。

小原 確かに、失敗する可能性もありますからね。でも、失敗から学べることは多いですし、最終的な責任は全て私がとりますから、スタッフたちには臆せずチャレンジしてほしいと思っています。鶴久 社長の下でなら、得がたい経験を積んだ良い人材が育ちそうです。では、会社のビジョンはいかがでしょうか？

小原 規模の大きい工場を任せて頂いていることを自信につなげて、今後も実績を積み上げながら信用を得られる仕事を続けてまいります。そのためにも、人材確保や育成に注力していくつもりです。鶴久 そうして社長ご自身も、チャレンジ精神を持って高みを目指し続けていかれるのですね。

小原 はい。この先もチャンスがあれば、逃さずにつかんでいきたいですね。やる気や情熱を持ち続けていくことで、きっと道は開けると思いますから。

Company Data>>

 OBARAYA

有限会社 OBARAYA

【本社】〒344-0064
埼玉県春日部市南3-1-44
【工場】〒289-1306
千葉県山武市白幡2015-1
URL <http://obaraya.com/>